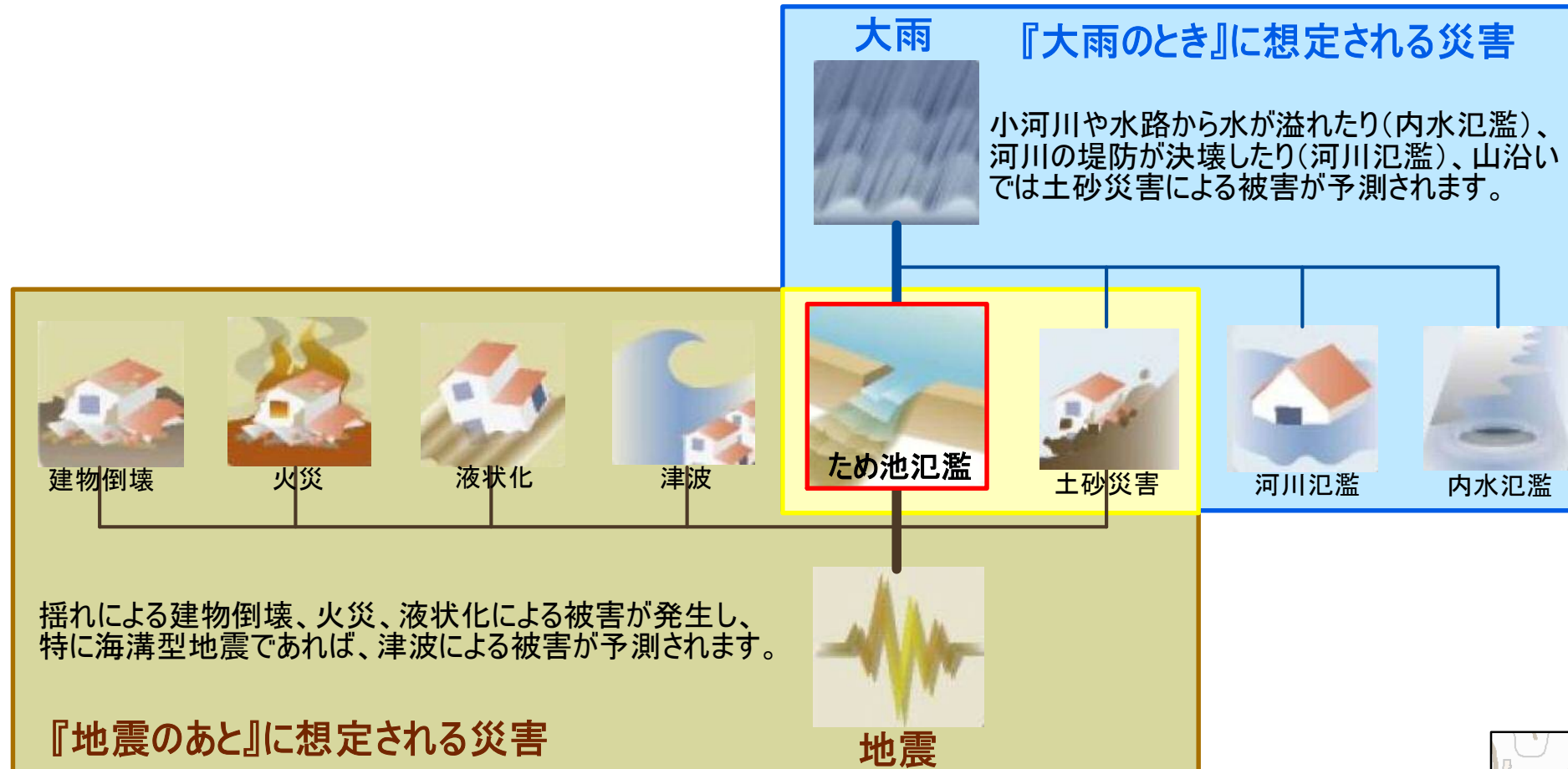


エゲ溜池ハザードマップ

◇災害の状況に応じた避難を考えよう



避難時の心得

安全な避難路の確認

避難場所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき安全に通行できるかを確認しておきましょう。

避難の呼びかけに注意し速やかな避難

役場や消防団からの呼びかけに注意し、避難勧告が出された場合は、危険が迫っているので、警察などの指示に従い速やかに避難しましょう。

非常持ち出し品の事前準備

避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備してすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

お年寄りなどの避難に協力

お年寄りや子供、病気の人などは、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。

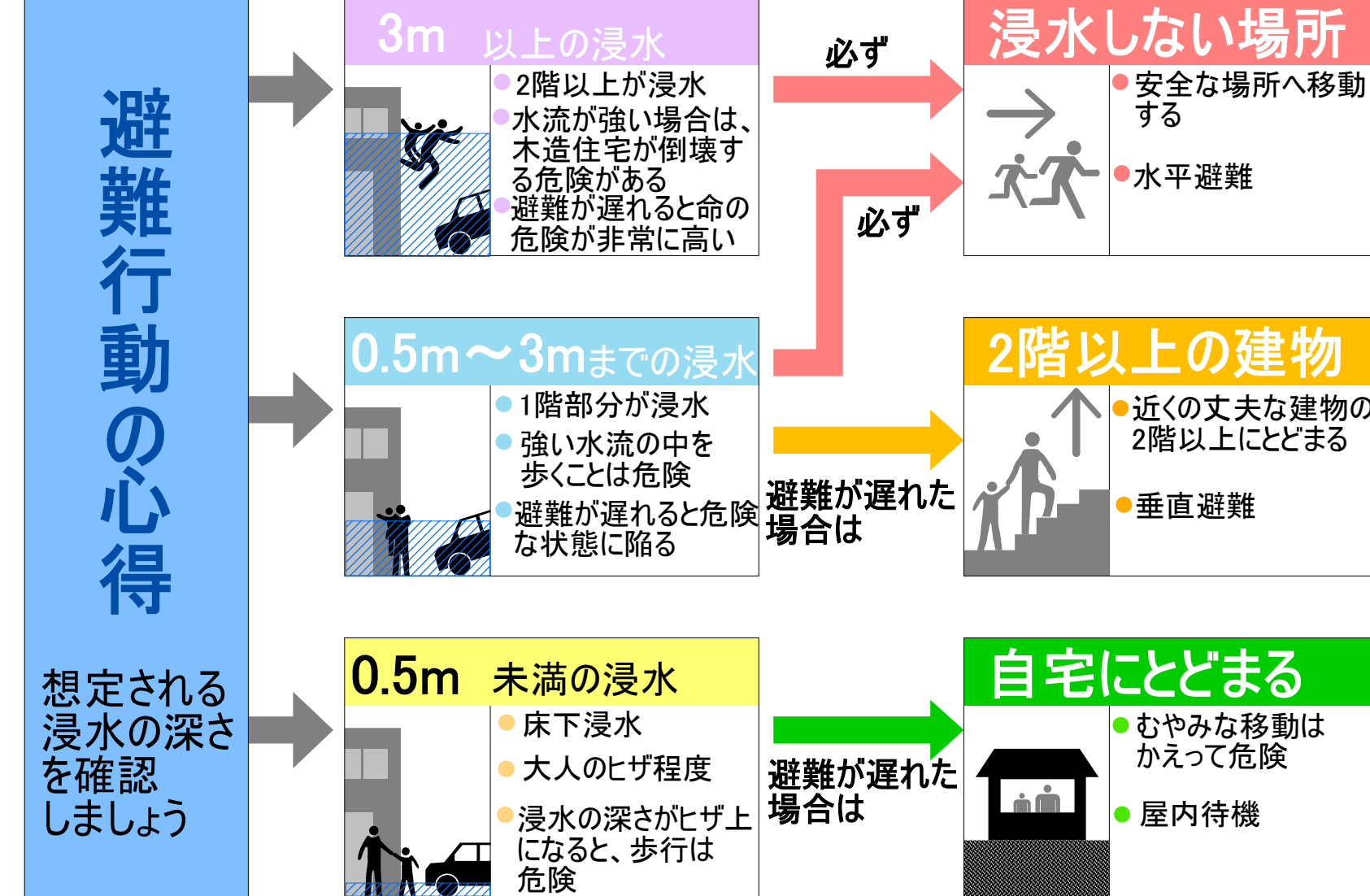
正確な情報収集と自主的避難

ラジオ・テレビで最新の気象情報や災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

動きやすい格好、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。

◇避難勧告等がだされたら速やかな避難



◇ため池氾濫のメカニズム



◇避難情報は下図のような経路で住民の皆さんに伝達されます



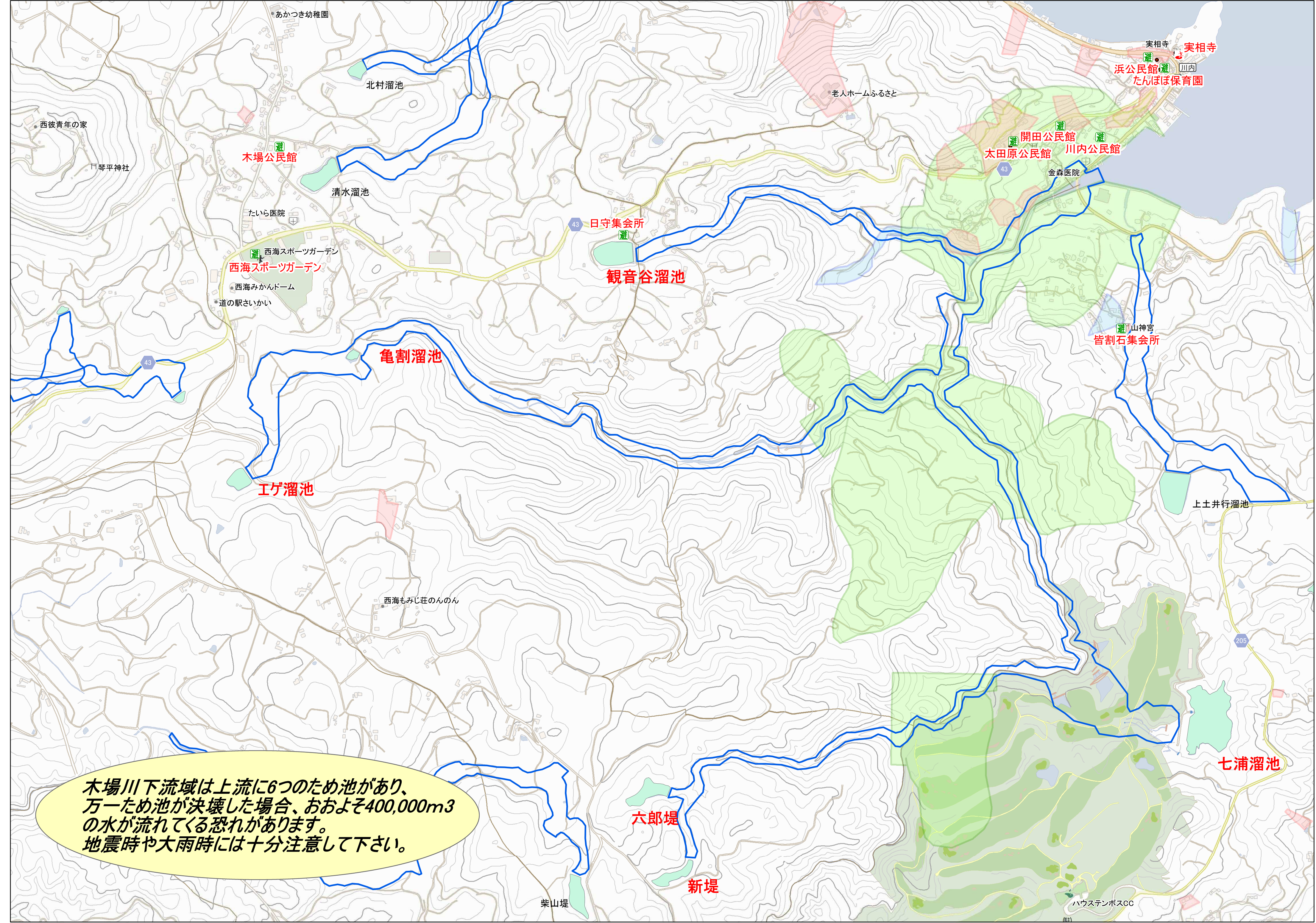
◇避難情報には、緊急度に応じて3つの種類があります

避難情報の種類	発表の目安
避難準備情報	地域または土地、建物等に災害が発生するおそれがある場合に発表します。特に避難行動に時間を要する方は、避難を開始してください。
避難勧告	地域または土地、建物等に災害が発生するおそれがある場合に発表します。避難してください。
避難指示	状況がさらに悪化し避難すべき時期が差し迫ってきた場合や、災害現場に残っている住民がいる場合に発表します。ただちに避難してください。

わが家の防災メモ

我家の避難場所：
家族の避難場所：
緊急時の連絡先：

家族の名前	生年月日	血液型	電話番号	会社・学校の電話番号



木場川下流域は上流に6つのため池があり、万一つため池が決壊した場合、およそ400,000m3の水が流れてくる恐れがあります。地震時や大雨時には十分注意して下さい。